建築学部　景観建築学科　カリキュラムツリー（令和3年4月入学）

		(A) 真 (A-1) 基礎学力	(A-2) 強	(A-3) 用	(A-4) コスト・スケジュール	(B) 美 (B-1) 造形能力	(B-2) 歴史、文化	(C)善 倫理	(D) 総合 (D-1) 統合	(D-2) チームワーク
共通教育科目		○					○	○		
基礎教育科目	初期演習	○						◎		○
	語学	◎								
	数学・自然科学	◎					○			
専門教育科目	演習科目	表現演習・設計演習・卒業研究	◎	○	○	○	◎	○	◎	◎	◎
		映像情報	◎								
	講義科目 建築系	建築計画		○	◎			◎			
		建築環境工学・建築設備			◎			○	○		
		構造力学・建築一般構造・建設材料		◎				○	○		
		建築生産				◎			○		◎
		建築法規				○			○		
		測量・都市計画	◎		◎			◎	○		○
	講義科目 景観系	倫理							◎		
		原論・計画・歴史・文化		○	◎			◎	○	○	
		技術		◎		◎				○	
		自然環境・植物	◎		◎			◎	◎		
	実習科目	植物・緑化実習	○			○	○	○	○	◎	○
		フィールドワーク	○	○	○	○	○	○	◎		

学士課程

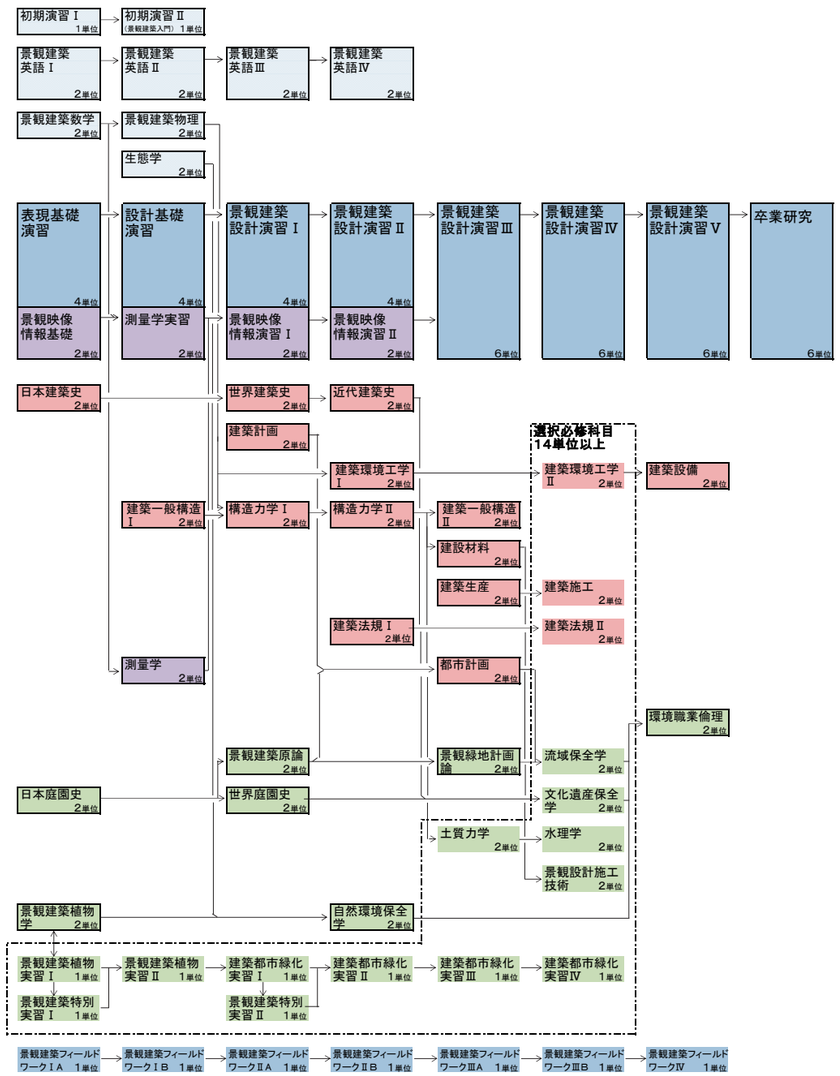
1年前期　1年後期　2年前期　2年後期　3年前期　3年後期　4年前期　4年後期

6単位以上

2単位以上 人文科学科目

2単位以上 社会科学科目

その他



凡例　必修科目：　選択必修科目：　選択科目：

(A-1) 語学や諸学の基礎学力の修得および自らの主張を社会に提案し、合意を形成できる基礎的能力を培っている。
(A-2) 構造や諸災害などに対する安全性を「強」として理解し、その基礎的技術を積極的に吸収し、演習によって空間的に構成する基礎的能力を培っている。
(A-3) 機能性や環境負荷などに関する快適性を「用」として理解し、その基礎的技術を積極的に吸収し、演習によって最適な空間を構成する基礎的能力を培っている。
(A-4) コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらのもとで、適切な設計・施工計画を進められる基礎的能力を培っている。
(B-1) 基礎的造形能力を培っている。
(B-2) 歴史・文化・国際社会・地球環境を理解する基礎的知識を習得し、価値観を培っている。
(C)　社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力と継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を理解している。
(D-1) 「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的に実現する基礎的能力を培っている。
(D-2) 様々な専門家・技術者との共同の重要性を理解している。

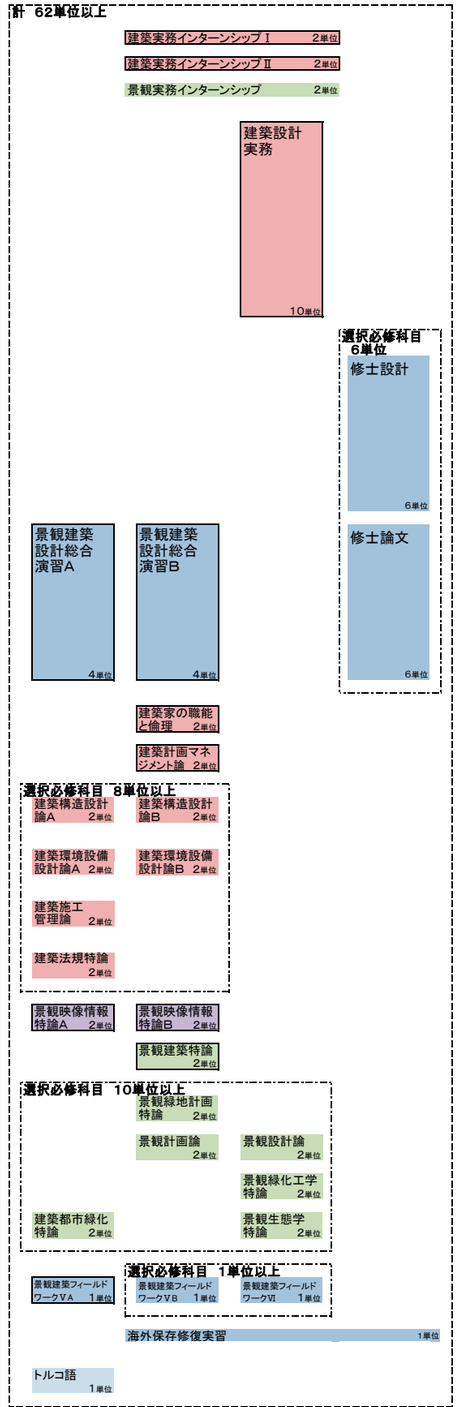
大学院建築学研究科　景観建築学専攻修士課程　カリキュラムツリー（令和3年4月入学）

		(A) 真 (A-1) 基礎学力	(A-2) 強	(A-3) 用	(A-4) コスト・スケジュール	(B) 美 (B-1) 造形能力	(B-2) 歴史、文化	(C)善 倫理	(D) 総合 (D-1) 統合	(D-2) チームワーク
インターンシップ科目	短期インターンシップ		○	○	○		○	◎	○	○
	建築設計実務		○	○	◎		○	○	◎	◎
演習科目		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○
講義科目 建築系	計画系				◎			◎	○	○
	構造系		◎							
	環境・設備系			◎			○			
	施工管理				◎			○		
	建築法規				○		○	◎		
講義科目	映像情報系	◎							○	
講義科目 景観系	原論・計画・歴史・文化			◎	○		◎	○	◎	○
	技術		◎	○				○	○	
	自然環境・植物				○			◎	○	
実習科目	フィールドワーク		○	○	○		○	◎	○	
語学科目		◎								

修士課程

1年前期　1年後期　2年前期　2年後期

計 62単位以上



凡例　必修科目：　選択必修科目：　選択科目：

(A-1) 語学や諸学の基礎学力の修得および自らの主張を社会に提案し、合意を形成できる実践的能力を修得している。
(A-2) 構造や諸災害などに対する安全性を「強」として理解し、その基礎的・先端的技術を積極的に吸収し、演習や実習によって空間的に構成する実践的能力を修得している。
(A-3) 機能性や環境負荷などに関する快適性を「用」として理解し、その基礎的・先端的技術を積極的に吸収し、演習や実習によって最適な空間を構成する実践的能力を修得している。
(A-4) コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらのもとで、適切な設計・施工計画を進められる実践的能力を修得している。
(B-1) 基礎的造形能力を培っている。
(B-2) 歴史・文化・国際社会・地球環境を理解する実践的知識を修得し価値観を身につけている。
(C)　社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力と継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成している。
(D-1) 「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的・実践的に実現する能力を修得している。
(D-2) 様々な専門家・技術者との共同の重要性を理解し、チームワークで建築をつくりこむことのできる能力を修得している。